

製品名: LEF1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21153**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:1000-1:4000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:44kD;Observed MW:45-60kD

抗原情報

遺伝子名	LEF1
別名	LEF1;Lymphoid enhancer-binding factor 1;LEF-1;T cell-specific transcription factor 1-alpha;TCF1-alpha
遺伝子 ID	51176.0
SwissProt ID	Q9UJU2
免疫原	ヒト LEF1 の合成ペプチド

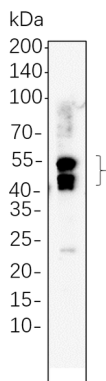
背景

細胞局在: 核。この遺伝子は、高移動度群タンパク質 1 (HMG-1) と相同性を持つタンパク質ファミリーに属する転写因子をコードする。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、T細胞受容体 α エンハンサーの機能的に重要な部位に結合し、最大のエンハンサー活性を付与する。この転写因子は Wnt シグナル伝達経路に関与しており、毛髪細胞の分化および毛包の形態形成に機能する可能性がある。この遺伝子の変異は体性脂腺腫瘍で発見されている。また、この遺伝子はアンドロゲン非依存性前立腺がんを含む他のがんとの関連も指摘されている。選択的スプライシングによって複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2009 年 10 月]

研究分野

-

画像データ



Jurkat 全細胞ライゼートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を LEF1 ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。